

園だより

なかいず認定こども園

園だより 7月号

令和6年6月27日

先日中伊豆体験農園の皆さんのご厚意で、すみれ組とゆり組の子どもたちが体験農園でジャガイモ掘りの体験をしました。モグラの手で、土をぐんぐん掘っていくと次から次へとジャガイモが出てきます。当日は少し気温も高かったので、直ぐに飽きてしまう子もいましたが、根気強く掘り続ける子も多かったです。体験農園の土はふかふかのよい土でしたが、深いところにも大きな芋が隠れていたの、体験農園の皆さんの他にもボランティアのシニアクラブの方たちの力もお借りしました。結果はコンテナ4箱以上になりました。(いつもは3箱ぐらいでしたので今年は豊作でした)



園に帰ってきて、それぞれの家庭に持ち帰る分、これからミールさんをお願いして食育教室で使う分、給食のカレーの材料に使う分と取り分けていき、余った芋は乳児組の皆さんにもお裾分けをしました。皆さんのご家庭にも届いたと思いますが、是非上手に使っていただきご家庭での食育としてご利用ください。

特定健診の結果によれば、静岡県内でも東部地区は生活習慣病を発症している人の数が中西部(特に西部)に比べるとかなり高いようです。子どものうちからの食育が大切になります。こども園でもいろいろな場面での食育に取り組んでいます。協力しながら、これからも食

生活の見直しについて考えていきましょう。ちなみに、伊豆市の食育では目指す姿を「楽しく食べて心身ともに元気に生きる」として



保育参観にご協力ありがとうございました

12日から14日にかけて、今年度第1回目の保育参観を実施しました。たくさんの皆様にご参観いただきました。ありがとうございました。

すみれ組は、親子交通安全教室として道路の歩き方や横断歩道の渡り方について交通指導員さんから学びました。ゆり組も活動の中に親子のふれ合いを入れさせていただきました。子どもたちは、ただ見られているというより、おうちの方に甘えながら活動するのが心地良いようで、いつも以上に笑顔で保育参観を楽しんで

いました。たんぼぼ組では、おうちの方の前でこれまでの活動について自分たちも加わりながら作成したプレゼン用の紙を使って発表をしました。事前に興味をもったグループごとに集まって写真や図などを利用して発表の準備を進めていたので、一人一人が自分の役割を実感しながら発表している様子が分かりました。このような体験が、小学校や中学校へ進んだときにきっと役に立つと考えています。

保育参観は、ご家族の方へのサービスのためだけに実施するのではなく、子どもたちの成長を期待しながら計画している行事なのです。



7月の主な予定

2日(火) 支援センターイベント
5日(金) 発育測定
8日(月) 音楽遊び
9日(火) 知能検査(年長)
12日(金) 避難訓練(消防署指導)
 花火教室
17日(水) 英語教室

18日(木) 支援センターイベント
19日(金) 教育部終業式(教育部11時降園)
20日~8月31日 教育部夏休み
20日(土) 奉仕作業
 (出席・分担等の詳細は後日お知らせします)
23日(火) 個人面談1日目
24日(水) 個人面談2日目
25日(木) 個人面談3日目
26日(金) 個人面談4日目

保育実習生
7/25~8/9

20日(土) 奉仕作業 9:00~10:30(予定)

作業内容 窓ふき・網戸掃除・ベランダ等の清掃 等
持ち物 ビニール手袋 雑巾1枚
参加者 先日メールにてお知らせした皆様

※奉仕作業の間 自宅でお子さんの世話をする方がいらっしゃらない場合
こども園で保育をいたします。希望される方は園までお知らせください。



23日(火)・24日(水)・25日(木)・26日(金) 個人面談

一人10分程度の時間となりますが、個人面談を計画通り実施します。
お子さんの様子についての直接的な情報交換は、とても貴重です。今後の保育の参考にいたしますので、子育てについて何かお困りのことがありましたら、気軽にお知らせください。なお、感染症対策などの観点から、一人あたりの実施時間を短くしてあります。時間をとっての詳しい相談があります方は、後日、改めて場を設けさせていただきますので、計画通りの進行にご協力をお願いいたします。

8月の主な予定

5日(月) 伊豆総合高校の3年生参観
7日(水) 発育測定
15日(木) 避難訓練
19日(月) 中伊豆中職員2年目研修
29日(木) 支援センターイベント

9月の主な予定

2日(月) 教育部始業式
4日(水) 英語教室
6日(金) 歯科教室
9日(月) 発育測定 音楽遊び
10日(火) 歯科教室
13日(金) 避難訓練
20日(金) 1・2歳児保育参観

本園では幼児組の子どもたちに音楽遊びや、英語教室、運動遊びといった外部講師を招いての活動を行っています。月に1度の活動もあれば、3ヶ月に1度の活動もありますが、さまざまな体験や活動を行うことで、子どもたちの興味や関心を高めるだけでなく、視野を広げる効果もあるようです。

以前、脳科学の学者が書いた本の中に、右脳と左脳を両方バランスよく使う習慣がある人はそうで無い人以上の能力を発揮できるというようなことが書いてありました。脳が発達段階にある子どもの頃に、特定の分野だけにのめり込むより、幅広い体験や活動に取り組むことが、多くの場合人生を豊かにするようです。

